

警察官等をかたる特殊詐欺における新たな手口について

ポイント

詐欺の犯人が、「ニセの警察官」「ニセの逮捕状」のほか、「**ニセの見積書**」の画像を送信する手口を確認

事例

警察官を名乗る者(犯人)から、「お金を振り込むとき、金融機関の窓口の人に理由を聞かれたら、これを見せてください。」等と言われ、被害者の名前を宛名にしたリフォーム見積書の画像が送信された。

警察官等からの電話 → メッセージアプリに移行 → 逮捕を示唆 資産調査名目 → 振込要求 現金等手交要求 → 「ニセの見積書」が送信 → 「ニセの見積書」を提示して振込

注意点

送信されたニセの見積書を金融機関に提示するよう指示される

それは、**詐欺**です！
最寄りの**警察署**等にて、**対面**で相談してください。

※金融機関の方へ

振込の口実として見積書が示された場合、顧客の見積書に対する説明に不審な点があるときは、詐欺の被害者である可能性も考慮し、慎重な対応をお願いします。

(ニセの逮捕状)



(ニセのリフォーム見積書)

